※令和４年度以降入学生用

学校番号	1208

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	実用国語Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実用国語Ⅰでは、社会生活に必要な実用的なコミュニケーション能力、文章力を身につけます。また、社会に出た際に、必要となる語彙力や言葉遣いについても学習します。国語が得意でない人も安心して勉強できるよう工夫していますので、前向きな気持ちをもって授業に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【a 知識及び技能】
・各種検定試験の問題演習を通し、実用的な語彙力を獲得させる。
【b 思考力、判断力、表現力等】
・獲得した語彙を用いて読解力・文章力を向上させる。
【c 学びに向かう力、人間性等】
場面や・時代によって言葉が変化していることに気づき、それに対応しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各種検定試験合格レベルの漢字・ことわざ・四字熟語等の基礎的事項を理解している。 ・実用的な語句の意味や用例を理解し、それを実生活の中で活用できる。	・基礎的な語句を用いて短文を作るなど、実用的な表現力が身についている。 ・場面や状況によって同じ語句でも意味が異なることを理解し、場面によって適切な語彙で表現をできる。	一つ一つの言葉が歴史の中で培われてきたということを理解し、それぞれの言葉に対して関心をもっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字・ことわざ・四字熟語 ［教材］ 日本語能力検定	a：問題演習を通して、基礎的な熟語の知識が習得している b基礎的な語句を用いて短文を作るなどして、生徒の実用的な表現力が身についている c：自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。日本語に対し興味をもち積極的に活用しようとしている	定期考査	定期考査 提出物・課題	振り返りシート 取り組み
	論理的に文章の作成 ［教材］ 論理言語力検定	a：日本語の特徴や文法事項等を理解している b：語順や比喩表現に注意をし、論理的に表現している c：自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。日本語に対し興味をもち積極的に活用しようとしている	定期考査	定期考査 提出物・課題	振り返りシート 取り組み
2学期	語彙力・短文理解 ［教材］ 論理言語力検定	a：新聞等に掲載されている語句を理解している b：様々な新聞記事を読み自分なりの意見をもち、それを客観的な立場から表現している c：社会で使われている言葉について興味をもち、それらを活用しようとしている	定期考査	定期考査 提出物・課題	振り返りシート 取り組み
	漢字・ことわざ・四字熟語 ［教材］ 日本漢字能力検定	a：問題演習を通じて、中学校卒業程度の漢字力を獲得している c：自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。漢字やことわざに興味をもち積極的に活用しようとしている	定期考査		振り返りシート 取り組み
3学期	日本語の聴解・文法・短文読解 ［教材］ 日本語能力検定	a：基礎的な文法事項について理解している。 b：さまざまな会話文を聴き、メモ等をとるなどし、会話の流れを把握する工夫をしている。 c：自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。日本語に対し興味をもち積極的に活用しようとしている	定期考査	定期考査 提出物・課題	振り返りシート 取り組み

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　２５　）時間